

学校給食における地場産物の活用について

1 学校給食における地場産物の活用の意義

- 児童生徒が生産者やその生産過程を知り、地域農業への関心や食べ物への感謝の気持ちを深める。
- 郷土料理などの地域の食文化の継承
- 食材を提供する地域農業者の生産の安定化や意欲の向上 など

2 千葉県における学校給食における地場産物の使用状況

(令和6年度学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査：文部科学省)

令和6年度 地場産物使用割合 62.0%【全国18位 (R5 29位)】

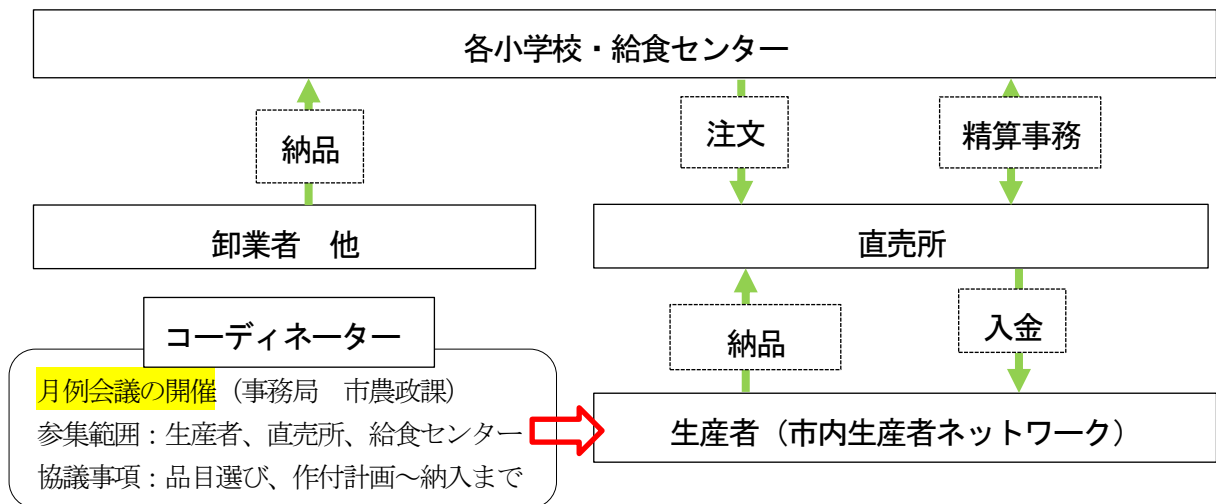
全国平均 56.4%

国産食材使用割合 91.8%【全国12位 (R5 20位)】

全国平均 89.4%

(割合は金額ベース)

3 学校給食における地場産物提供の流れ（直売所を活用した事例）



- 関係者を集めた会議の開催による情報共有
- 農産物を調整するコーディネーター機能が備わっている
- 精算事務のシステムができている（既存のシステムを活用）
- 首長の強い意向